

2016年度町田市教育委員会

第11回定例会会議録

- 1、開催日 2017年2月3日
- 2、開催場所 第三、第四、第五会議室
- 3、出席委員
- | | | | |
|-----|---|----|----|
| 委員 | 長 | 佐藤 | 昇 |
| 委員 | | 八並 | 清子 |
| 委員 | | 森山 | 賢一 |
| 委員 | | 坂上 | 圭子 |
| 教育長 | | 坂本 | 修一 |
- 4、署名委員
- 委員長
- 委員
- 5、出席事務局職員
- | | | |
|-------------|----|-----|
| 学校教育部長 | 吉川 | 正志 |
| 生涯学習部長 | 北澤 | 英明 |
| 教育総務課長 | 市川 | 裕之 |
| 教育総務課担当課長 | 高橋 | 由希子 |
| (兼) 総務係長 | | |
| 教育総務課担当課長 | 小宮 | 寛幸 |
| (学校運営支援担当) | | |
| 施設課長 | 岸波 | 達也 |
| 施設課学校用務担当課長 | 桑原 | 一貴 |
| 学務課長 | 田中 | 利和 |
| 学務課担当課長 | 峰岸 | 学 |
| 保健給食課長 | 佐藤 | 浩子 |
| 指導室長 | 宮田 | 正博 |
| (兼) 指導課長 | | |
| 指導課統括指導主事 | 熊木 | 崇 |
| 教育センター所長 | 勝又 | 一彦 |
| 教育センター担当課長 | 黒澤 | 一弘 |

教育センター統括指導主事	高橋博幸
生涯学習部次長	小口充
(兼)生涯学習総務課長	
生涯学習総務課担当課長	早出満明
(兼)総務係長	
生涯学習総務課担当課長	貴志高陽
(兼)文化財係長	
生涯学習センター長	板橋かおる
生涯学習センター担当課長	鈴木亘
図書館市民文学館担当課長	河井康雄
(町田市民文学館長)	
図書館副館長	中嶋真
図書館担当課長	吉岡一憲
書記	小泉宣弘
書記	谷山里映
速記士	帯刀道代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

議案第72号	教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
議案第73号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
議案第74号	都費負担教職員の休職に係る内申について	原案可決
議案第75号	都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
議案第76号	都費負担教職員の服務事故に係る処分内申について	原案可決
議案第77号	平成29年度町田市公立学校校長・副校長の人事異動及び統括校長の任用について	原案可決

7、傍聴者数 2名

8、議事の概要

午前 10 時 00 分開会

○委員長 ただいまより町田市教育委員会第 11 回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は森山委員です。

日程の一部変更をお願いいたします。日程第 2、本日の議案審議事項、議案第 72 号、第 73 号、第 74 号、第 75 号、第 76 号及び第 77 号は全て非公開案件ですので、日程第 3、報告事項終了後、一旦休憩をとり、日程第 4 として、関係者のみお残りいただき、審議をしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきますと思います。

以下、日程に従って進めてまいります。

日程第 1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、教育長から報告をお願いいたします。

○教育長 それでは、前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、1 点ご報告させていただきます。

1 月 22 日、「文化財防火デー」に合わせました消防演習が小山町の寶泉寺において行われまして、これに出席をいたしました。この「文化財防火デー」と申しますのは、1949 年 1 月 26 日に、奈良の法隆寺の金堂の壁画が火災により損壊したことを機に設けられたものでございまして、毎年この 1 月 26 日を中心に、文化庁や消防庁、各都道府県、市町村等が連携協力して、全国で文化財防火運動を展開しております。

テレビのニュースでも全国各地の防火演習が取り上げられておりましたので、ごらんになった方も多いと思いますが、この町田市におきましても、今回の会場となりました寶泉寺の十六羅漢図や釈迦如来坐像をはじめ、多くの文化財がございます。これらの文化財はかけがえのない市民の皆様の財産でございまして、私たちはそれを後世に引き継いでいく義務があるわけでございますが、町田消防署や町田市消防団、地元の町内会や檀家の皆様には、その役割の多くを担っていただいております。今回の演習当日も、寒風吹きすさぶ中を、町田消防署や、町田市消防団、地元地域の皆様の大変統制のとれた立派な訓練を拝見いたしまして、町田市の文化財はこうして皆様に守られているのだということを改めて

認識し、頼もしく思いました。文化財の所管である教育委員会として、皆様に厚くお礼のご挨拶をしてまいりました。

そのほかの主な活動は、お配りしております資料のとおりでございます。

私からの報告は以上でございます。

○委員長 両部長から何かございましたらお願いいたします。

○学校教育部長 私のほうからは特にございません。

○生涯学習部長 生涯学習部からも報告事項はございません。

○委員長 それでは、続きまして各委員から報告をお願いいたします。

○八並委員 私からは3点報告させていただきます。

まず1月13日、東京都市町村教育委員会連合会、第3回理事会、第2回理事研修会が行われました。研修会では「教育行政の現状と課題」と題しまして、東京都多摩教育事務所長、黒田様より、多摩地域の児童・生徒の学力の状況、指導主事の育成、新任指導主事等への支援、副校長の負担軽減、学校事務の共同実施、今後の教育施策における重要事項ということで、東京都教育施策大綱の骨子についてお話がありました。

また1月31日、町田市立小学校副校長会研究発表会に出席いたしました。「これからの学校教育の創造に向けた町田市教育プランのさらなる推進」ということで、副校長会による研究発表会が行われました。当日は、第2地区の「特別支援教育の実践を目指した若手教員の育成～学校における授業のユニバーサルデザイン化を通して～」ということで、都立町田の丘学園のご協力のもと行われた研修会などの発表がございました。また、第4地区では、「教師力を向上させるための副校長のかかわり」として、「第4地区ESDプロジェクトの実践に」ということで発表がございました。第6地区からは、「オリンピック・パラリンピック教育の推進と計画」の発表がございました。発表後には活発な質疑応答が行われまして、お忙しい中、研究を進められました副校長先生方に、改めて感謝申し上げるとともに、今後のご活躍にエールを送りたいと思いました。

また1月20日、文学館におきまして、「野田宇太郎 散歩の愉しみ―〈パンの会〉から文学散歩まで―」展の内覧会に行つてまいりました。当日は、ご協力を賜りましたご遺族の方々、野田宇太郎文学資料館、東京町田ペンクラブを初め、関係者、関係機関の皆様にお集まりいただき、高橋副市長、殿村副議長、また特別協力をいただきました山田俊幸様、ご遺族を代表いたしましてご長女のみよシミズエ様からご挨拶をいただきました。

野田宇太郎は福岡県小郡市に生まれ、詩人として活躍した後、昭和15年には上京し、編

集者として勤めます。昭和20年、戦後の荒涼とした東京の町並みを目にし、また恩師、木下杢太郎を失ったという経験から、近代文学の足跡が失われていく状況に気づき、実証的な文学研究の方法として文学散歩を創案しました。

昭和40年代後半には、町田市図師町に移り住み、もう1つのライフワークである明治末期の文学サロン「パンの会」に始まる日本耽美派研究をまとめました。また、町田ペンの会、現在の東京町田ペンクラブの初代会長を務めるなど、町田の地域文化の興隆のためにも尽力されました。

本展では、野田宇太郎について、文学散歩と「パンの会」をキーワードに検証し、あわせて詩人として、また編集者としての幅広い活動をご紹介します。多くの作家や画家との交流があった宇太郎らしく、挿絵、写真などの資料が多く展示され、文学館というよりは、まるで美術館のような展示となっておりますが、私は展示を見ながら、宇太郎とともに散歩しているような感覚になり、かた苦しなく宇太郎を知ることができ、大変感動いたしました。

町田文学館では、こうした毎回趣向を凝らした魅力的な展示やイベントを行っていること自負しております。今回は展示解説のほかに、講演会が2回、文学散歩が4回、ワークショップが1回企画されております。

そのうちの1つをご紹介しますと、3月18日には和光大学のご協力のもと、「知ってるようで知らない町田探検ツアー、春を探して一町田駅前文学散歩」を行います。これらを通して、多くの方が、野田宇太郎の発見した近代文学へのまなざしに触れるとともに、その魅力を感じることができればと思います。また、こうした視点が郷土町田の魅力を再発見するきっかけにもなるのではないかと思います。このような町田ゆかりの作家たちを検証し、後世に伝えるという文学館の役割、機能は、町田の文化の発展のために大変重要だと考えます。市民の皆さんに大いに利用、活用していただきたいと思いました。

私からは以上です。

○森山委員 それでは、私のほうからは、今月は市内の教育委員会研究推進校の発表会が数校で行われましたので、その中のことを中心にご報告をさせていただきたいと思います。

まず南成瀬中学校では、「学ぶ意欲を高める指導の工夫」という研究主題を掲げております。また、小山ヶ丘小学校につきましては、『「考えよう、やってみよう」 学ぶ楽しさを味わう児童の育成』というテーマで研究を行っております。金井小学校につきましては、「読むことを通して自ら考えを深められる児童の育成～説明文の読み取りを通して～」と

いうことで、それぞれの学校が研究主題を明確にしながら取組を行い、発表をするという流れで行われたものと思います。

時間の関係もあると思いますので、私はその中で1点、南成瀬中学校を中心にご報告をさせていただきたいと思います。先ほど申し上げましたとおり、「学ぶ意欲を高める指導の工夫」ということでございますが、ご承知のとおり中学校は、教科担任制という、小学校とはまた異なった学校の授業運営を行っていると思います。そういう中で、1つの研究主題を決めて行っていくという面では、非常に難しさというところもあろうかと思いますが、今回発表会に参加をさせていただきまして、特にこの学校が生徒の現状について把握をしっかりとなさっておられるなということを感じました。

それはどういうことかといいますと、授業に興味をもって取り組むとか、やり遂げるとか、難しいことにも挑戦するというところに対して、中学生は自己評価が低いということ、先生方がしっかりとご認識をなさっておられました。このような問題の把握から、この研究のスタートがあったと感じました。その中で、先ほど申し上げましたように、教科担任制というところを払拭し、全教員が実践していく中で、生徒の学ぶ意欲の向上を図ろうという組織がしっかりとつくられていたのではないかと感じました。そういう意味において、この学校の学ぶ意欲を高めるという指導の工夫が全教科にわたって対応されていると感じました。

その中でも、授業を見ておりましたら、目標の徹底化というのを全先生方がすごく意識されていることに気づきました。体育の授業でもそうですが、具体的には全ての授業で黒板に目標をきちんと掲げて、それを先生が授業の最初と最後に確認するということが行われていました。やはり見通しをもって授業を行うということに対しての大きな成果であろうし、授業の終わりに生徒たちに確認させる、そういう意味での学習意欲を高める。ささいなことかもしれませんが、日ごろしっかりとそういう状況を理解しながら授業をなさっているというところで非常に関心をもちました。

以上です。

○坂上委員 森山委員と少し重なる内容があるのですが、私も4校ほど研究発表会のほうへ出席させていただきました。先月の1月17日、南成瀬中学校、1月20日、本町田東小学校、1月24日、小山ヶ丘小学校、1月27日、金井小学校と、小学校3校、中学校1校、計4校です。どの学校もそれぞれ研究主題に沿って、2年間の研究の成果をしっかりと発表され、研究発表会の日まで、各校の校長先生を初めとし、教職員の先生方が努力されてき

たことが大変よくわかりました。また、先生方の熱意を生徒たちもしっかりと受けとめ、この2年間の子どもたちの成長は本当にすばらしいものでした。

各校の研究主題は、南成瀬中学校は「学ぶ意欲を高める指導の工夫」、本町田東小学校は「ICTを効果的に活用した課題解決に向けた主体的、共同的な学び」、小山ヶ丘小学校は、算数科を通して、『『考えよう、やってみよう』 学ぶ楽しさを味わう児童の育成」、金井小学校は、国語科の説明文の読み取りから、「読むことを通してみずから考えを深められる児童の育成」と、どれも大変興味深く、また私にとっても大変勉強になった内容でした。

その中でも、特に私は金井小学校の研究発表がとても印象に残りました。まず公開授業で全学年の授業の様子を見せていただきましたが、全学年を通じて、子どもたちの字のきれいさにまず驚き、低学年からの読書の習慣づけ、また、たくさん字を書かせているという学校の方針に大変感心いたしました。最近の子どもたちの読書・本離れが懸念され、また文字を書く機会が減っている昨今、本当にすばらしい取組だと思いました。きれいな字で自分の考えをしっかりと文章に書けることは、時代は変わっても大切なことだと思います。これからもこの取組は継続していただきたいと思いました。

最後に、各校の研究発表会の後に行われる講師の先生方による講演会も、研究主題に沿ったとてもすばらしい講演会でした。大変勉強になった内容でした。

以上です。

○委員長 教育長並びに各教育委員から報告をしていただきましたが、何か質問などありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。――よろしいでしょうか。

それでは、以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第3、報告事項に入ります。

報告事項、本日5件用意されておりますけれども、そのほか、私のほうからお伺いしたいと思うことですが、現在インフルエンザが大流行しているということで、これは学校にとって、いろいろな意味でとても影響を与えていると思います。学級閉鎖なども多いと聞いておりますので、現状はどうかということについて、ご報告いただければありがたいと思います。

それでは、教育長から報告をお願いいたします。

○教育長 本日の報告事項、5件ございますが、ただいまお話がありましたインフルエンザの発生状況等も加えまして、それぞれの担当のほうからご説明申し上げます。

○委員長 それではまず報告（1）につきまして、担当者から説明をお願いいたします。

○教育センター所長 それでは報告事項（１）「小学校肢体不自由学級の統合について」、報告をいたします。

町田市におきましては、小学校の肢体不自由特別支援学級、いわゆる肢体不自由学級を、山崎小学校と町田第六小学校の２校に設置をしております。このうち山崎小学校の肢体不自由学級が、在籍児童数の減少によりまして、2017年度からは児童数２名の少人数学級となり、学級指導教員も１名のみの配置となることが確実となっております。今後も継続的に児童数が維持できる見込みがなく、専門的な指導体制の維持が困難となることが想定されておりましたので、町田市特別支援教育推進計画推進協議会におきまして、その対応策について今年度検討を進めてまいりました。

その結果、山崎小学校の肢体不自由学級を、現在６名の児童がおります町田第六小学校の肢体不自由学級に統合することにより、専門的な指導体制の維持と、集団の中で児童が社会性を育みながら学べる学習体制を確保することが妥当であるとの結論となりましたので、これを踏まえまして、2018年４月から、山崎小学校の肢体不自由学級を町田第六小学校の肢体不自由学級に統合することといたします。これによりまして、指導対象となります児童の今後にわたる教育環境の充実及び教育的効果の向上を図ってまいりたいと考えております。

報告は以上となります。

○委員長 何かご質問などありましたらお願いいたします。

私から２点お願いしたいのですが、１つは、通学手段がどのようになっているのか、念のため確認をさせていただきたい。それから、山崎小学校には現在２名通学をしているということですが、町田第六小学校のほうに統合されることについて説明等は十分になされているのでしょうか。この２点についてお伺いいたします。

○教育センター所長 まず１点目の通学に関することですが、現在、肢体不自由学級の児童・生徒につきましては、タクシーにて送迎を行っておりますので、学校が山崎小学校から町田第六小学校にかかわることによりまして、通学が難しくなるということはないと考えております。

もう１点、山崎小学校から町田第六小学校に統合になるということについての説明に関するところですが、このような状況になるということがもう２年ほど前から、既に想定をされておりましたので、山崎小学校の肢体不自由学級の保護者会のほうでも、将来は統合ということが考えられるということを説明してきてございます。

以上になります。

○委員長 ほかにございますか。

それでは、報告事項（２）に移りたいと思います。担当者、よろしくお願いいたします。

○生涯学習総務課長 報告事項（２）「自由民権資料館開館30周年記念 第２回市民協働企画展 『歴史を学び、歴史に学ぶ～地域に生きる市民として～』の開催について」、ご報告いたします。

本件につきましては、自由民権資料館の歴史講座「町田自由民権カレッジ」２期生が2015年３月に書き上げた卒論の内容を中心に紹介する報告展示でございます。あわせて、自由民権カレッジ卒業生により結成された「まちだ自由民権カレッジ同窓会」の活動も紹介いたします。

開催期間は2017年２月18日から３月20日までとなります。

展示構成は、「町田自由民権カレッジ」の紹介、「まちだ自由民権カレッジ同窓会」の紹介、それと卒業生それぞれの卒業論文について、写真や関連資料などにより発表をしております。

関連事業といたしまして、ギャラリートークを４回開催します。これは１回当たり民権カレッジ修了生３人から４人が、１人10分から15分程度で、担当学芸員と展示解説えお行います。

あわせて、関連企画といたしまして、11月13日に学識者を中心としたシンポジウムを行いました。それに続きまして、３月12日に市民シンポジウムを生涯学習センターのホールで開催いたします。カレッジの卒業生に、自分の考える自由民権運動像について報告していただき、それらを通して、市民の皆さんとともに自由民権運動の意義について考えていくものです。

報告は以上です。

○委員長 ただいまの説明につきまして、質問などありましたらお願いいたします。

私からですが、同窓会も意欲的に活動しているということですが、どのような活動をされているのか、その一端を教えてくださいと思います。

○生涯学習総務課長 「まちだ自由民権カレッジ同窓会」でございますが、「町田自由民権カレッジ」を卒業した１期生を中心に結成され、そこに多くの２期生が加わり、今は月１回の卒論報告会、月２回の地元資料の報告、研究報告、あるいは各地をめぐるフィールドワークなど、自主的な学習活動を精力的に続けています。現在三十数名と聞いております。

自由民権資料館まつりや11月に行いましたシンポジウムなどの会場整理など、自由民権資料館の活動に協力していただくとともに、資料館所蔵の古文書を読む分科会の活動もしております。

○森山委員 2点、お伺いしたいと思います。まず1点目は、タイトル頭に「自由民権資料館開館30周年記念」という冠がついておりますが、30周年記念のイベントというものは全体的にどのようなものがあるのでしょうか。2点目は、この第2回の市民協働企画展は、その中のどのような位置づけになっているのかということをお伺いしたいと思います。

○生涯学習総務課長 今年度、自由民権資料館30周年ということで、4月以来、幾つかのイベントを行ってまいりました。

まず1点目は、五日市憲法展を行いました。入館者としては、933名です。

続いて、武相民権家列伝展ということで、これは前期と後期に分けて行わせていただき、入館者としては2,664名でした。この間、武相民権家列伝のときですけれども、これまでやっておりました常設展をフルリニューアルいたしました。この間、民権家列伝を行って、武相の関係について展示、普及をしておりましたので、数日だけですけれども、資料館を休館することによって、常設展のリニューアルをすることができました。

それから、先ほど申し上げた11月の学識者を中心とするシンポジウムと、これから行う市民協働展と市民シンポジウム、これを一連の30周年記念という形で今年度行わせていただいております。

○委員長 ほかにございますか。

それでは続きまして、報告事項(3)、お願いいたします。

○生涯学習総務課長 報告事項(3)「町田市指定有形文化財村野常右衛門生家の保存修理工事に伴う公開の休止について」、報告いたします。

本件につきましては、2014年に建物北側、ちょうど建物の正面裏側に当たりますが、土台部分を中心に広範な腐朽被害が確認されたことから、耐震診断や詳細な調査を行い、耐震補強を含む保存修理工事のための準備を進めてまいりました。そして今月、2月に工事請負契約をし、着工する運びとなりました。工事に伴い、通常、土曜、日曜日と祝日に実施している室内の公開を休止いたします。公開休止期間は2017年2月4日から2017年11月末日までを予定しております。

報告は以上です。

○委員長 何か質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは続いて、報告事項（４）に入ります。お願いいたします。

○生涯学習総務課長 報告事項（４）『町田市無形民俗文化財体験プログラム』の実施について、報告いたします。

このプログラムですが、例年、町田市民ホールで実施されている「町田市郷土芸能まつり」に合わせ、町田市指定無形民俗文化財の保存団体に解説つきで実演していただいたり、来場者におはやしの道具に実際に触れていただいたり、町田市の無形民俗文化財について学び、体験していただけるものとなっております。イヤホンガイドによる英語での解説もあります。また、伝統芸能をモチーフとしたグッズを、アンケートに回答いただいた方、先着200名様に配布いたします。

この無形民俗文化財体験プログラムと伝承芸能関連グッズサンプル配布の事業は、東京都が都内の各地域から地域資源を活用するための企画案を募集し、旅行者誘致につなげていく「地域資源発掘型実証プログラムの事業」の1つとして、町田市観光コンベンション協会と町田市、生涯学習総務課と産業観光課に当たりますが、こちらが東京都に企画提案をし、採択されたものでございます。

日時は2017年2月11日の1時から1時35分です。本体の「町田市郷土芸能まつり」は11時から16時まで行っております。入場は無料、申し込みは不要です。なお、グッズの配布は13時から始め、なくなり次第終了いたします。

報告は以上です。

○委員長 何か質問がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○八並委員 体験プログラムの内容の中に英語版解説があるとありますが、これはどのようなものか詳しく教えてください。

○生涯学習総務課長 そこにありますように、金井獅子舞の解説つき実演ということで、獅子舞を踊っている際に、その横で獅子舞の踊っている内容とか、これは何をあらわしているかとか、そういったものを解説するのですが、それをイヤホンガイドで英語版に訳してある、そのような形になっております。イヤホンガイドは10台ほど用意していると聞いております。

○委員長 私からですけれども、東京都の事業の「地域資源発掘型実証プログラム事業」に提案して採択されたということですが、この事業の中身もそうですけれども、その説明として「地域資源を活用する」と書いてありますが、地域資源の内容として、東京都は何を考えていらっしゃるのですか。町田市では、ここでは郷土芸能というのを地域資源の1

つとして企画をされたわけですが、もしこの事業が毎年実施されるのならば、町田市にも郷土芸能以外の地域資源もあるのではないかと思ったものですから、お聞きしたいと思います。

○生涯学習総務課長 今年度「地域資源発掘型実証プログラム事業」の企画案という形で、年2回やっているのですが、前半の5月に行われたところで幾つかの募集があつて、10件採択されたとのこと。その中身を見ますと、観光協会とか、例えば上野御徒町中央通り会という方たちが企画提案者となっております。内容は、例えば上野御徒町中央通り会としては、「外国人観光客向け上野・御徒町エリアのディープな体験・観光プログラムを通じた新規観光客創出事業」、もう1つ、墨田区観光協会は、「すみだものづくり修楽旅行・体験旅行実証事業」、そのようなものが採択されております。

町田市の今回のプログラムでございますが、年2回のうち、後半、2回目で手を挙げた形になっております。全体の募集の数は把握しておりませんが、13件の採択があつて、町田市もその中で採択をされたところですよ。

今回町田市は「町田市無形民俗文化財体験プログラム」として、町田市無形民俗文化財を観光資源として位置づけ、獅子舞及びおはやしで学びや非日常体験を楽しめるプログラムを提供し、外国人観光客を含め、町田市への観光・誘客に結びつけていくことを目的としています。

それから、先ほどグッズとお話ししましたが、ここで伝統芸能に関連するグッズを開発し、次年度以降は保存団体等が製作し、継続的に販売することで保存活動の資金源にしていくという、実際、実現するかどうかはわかりませんが、そのような考えもございます。

以上です。

○委員長 ほかにございますか。

それでは報告事項（5）に移ります。お願いいたします。

○生涯学習総務課長 報告事項（5）『写真で見る忠生遺跡』展の開催について、報告いたします。

昨年2月に忠生図書館多目的室で実施いたしました忠生遺跡縄文時代展の中で、忠生遺跡をもっと知りたいとの声をいただき、今年度は「忠生遺跡フェス」を企画し、考古資料室での特別展示、講演会、学習会、ウォーキングツアー、これは忠生遺跡の現地見学会でございますが、そういったものを実施してきました。今回の展示では、町田の遺跡展で

は初の試みといたしまして、これらに参加した市民の方にボランティアガイドとなっただけ、展示の説明をしていただくことを考えております。

開催期間は2017年2月7日から2月26日まで。10時から16時まで、忠生図書館内多目的室を会場としております。入場料は無料です。

関連企画といたしまして、ギャラリートークを3回実施いたします。その際、忠生遺跡から発掘された土器を抱えて写真が撮れる撮影会も行います。

報告は以上です。

○委員長 質問などありましたらお願いいたします。

○八並委員 資料の6番に、「事前申込みにより小中学校の団体見学に対して考古学専門職員による展示解説を行います」とありますが、これに関して、どのような広報活動をされているかということ、また、実際に申し込みがあるのかということをお伺いできればと思います。

○生涯学習総務課長 今回、忠生遺跡展ということで、「忠生遺跡フェス」という形で企画をいたしました。学校につきましては、2016年7月と9月の校長会で、例えば考古資料室での遺跡展というような案内をしてきました。今回の「写真で見る忠生遺跡」展については、校長会等ではまだ広報をしておりませんが、近隣の小学校である忠生第一小学校あるいは函師小学校には、7月、9月の資料展の関係についてはご案内をしております。今回の遺跡の開催については、近隣ということもありますので、その辺のことをちょっとお話ししたいと思っております。

○八並委員 これは私が感じたことですが、前回の忠生遺跡の展示も大変すばらしいものでした。市民の皆様が気軽に訪れる図書館での開催ということは、非常に有効、有益な取組の1つではないかと思えます。また、図書館によっては、近隣に小学校、中学校を抱えているところもございますので、ぜひ学校教育とのコラボレーションができるといいと思えます。

○森山委員 今、八並委員の質問とお話にかかわって、私も6のところは非常にいい取組だと思えます。特に歴史学習の貴重な場でもございますし、わが市町田という地域の学習でもあるかと思えます。そういう意味では、非常に貴重な機会と感じておりますので、関連する小・中学校と生涯学習の部分との連携をぜひ積極的にお進めいただければと思います。これは質問というよりも、お願いでございます。

○生涯学習総務課長 今、教育委員さんからお話があった部分を受けとめまして、また研

究をしていきたいと思えます。ありがとうございました。

○委員長 ほかにございますか。

それでは、6番目として、現在インフルエンザが大流行しているということで、少なからず学校教育に影響を与えているようであります。私ども教育委員も学校訪問いたしますと、必ずそのことが話題になっております。町田市全体の小・中学校においてどのような状況なのか、報告いただければありがたいと思えます。

○保健給食課長 それでは、今シーズンのインフルエンザによる学級閉鎖等につきまして報告をさせていただきます。

まず、2016年12月1日に、今年度初めての学級閉鎖ということで、相原小学校のほうより初発ということで報告が上がってまいりました。

2月2日、昨日までの学級閉鎖等の状況でございます。小学校におきましては23校で38学級、中学校におきましては7校で35学級、1月16日のあたりから急激に増えております。

都内の状況におきましても、福祉保健局の情報によりますと、同様の傾向がございまして、流行警報基準を超えたということで、1月26日に情報が入っております。

特徴的なことを申し上げますと、中学校7校のうち4校で学年閉鎖が行われております。この内容を見てまいりますと、集団宿泊行事、いわゆるスキー教室などでともに過ごす時間が多く、バスなどで移動の間、同じ空間に身を置いたということで、症状を発症した生徒さんが非常に多かったというのが特徴的なところでございます。

手洗いとか、せきエチケット、それから休養、栄養・水分補給ということで、これからも学校のほうには指導を徹底していただくようお願いをしてみたいと思えます。

以上でございます。

○委員長 何か質問などありましたらお願いいたします。

私からですけど、学級閉鎖を判断する基準とか、判断のプロセスというのでしょうか、このあたりを少し教えていただけるとありがたいと思えます。

○保健給食課長 学級閉鎖につきましては、例えば明確なパーセンテージなどというものはございません。学級で児童・生徒の欠席が多い場合、また、お休みの症状が同じような場合、例えば発熱であったり、学級閉鎖というものはインフルエンザに限るものではございませんので、ほかの症状であったりする場合がございしますが、そういった際には学校医に連絡をとります。また、並行して養護教諭がその学級に入りまして、体温をはかったり、症状についての聞き取りをしたりいたします。そういったことで、それらの情報を総合的

に判断して、学校長が学級閉鎖というものを決めるということになってございます。

○委員長 もう1つ、保健給食課長にお答えをお願いするのは無理なことかもしれませんが、町田市の学校関係のインフルエンザの流行のピークは過ぎたと考えてよろしいでしょうか。まだこれからだろうとか、そのあたりの見通しはいかがでしょうか。無理な質問であることは承知の上ですが、担当者の感想で結構でございます。

○保健給食課長 私の主観でございますが、特に週明けになりますと、このところ2週続けて報告が非常に多く上がってきているような状況でございます。本日は金曜日ということで、また週明けの6日にどういった状況になるのかというところは注視をしていかなければいけないと考えております。例年ですと、2月の間は、まだそういった流行が続くということが多くなってございますので、まだしばらくは注意が必要かと考えているところでございます。

○委員長 もう1つお伺いしたいのですが、学年閉鎖というのは恐らく中学校では1年生か2年生だろうと思うのです。中学3年生、あるいは小学6年生も同じことですが、特に中学3年生は、高校受験がこの2月、私立の高校から始まって、たしか2月24日に都立高校の一般入試だと思いますが、この時期の3年生の流行については、これまで1、2年生とは違った特徴などありますでしょうか。

○保健給食課長 インフルエンザの流行につきましては、その年によって非常に形が違っても言われておりますので、そのあたりはお含みおきいただければと思いますが、これまでのところ、町田市におきましては、中学3年生の学級閉鎖、学年閉鎖の報告は上がってきておりません。恐らくですが、学校でもご家庭でもそういった予防対策を非常に講じていただいているのかなと考えているところでございます。

○委員長 もう1つお願いします。これも答えにくいことだとは思いますが、予防接種の接種率あるいは効果などについては、これも担当の感想で結構ですので、わかる範囲でお話ししていただければと思います。

○保健給食課長 予防接種につきましては、その接種について勧奨ということで勧めていただいているところだと考えております。また、接種率について、残念ながら調査というようなものをしてございませんが、接種している児童・生徒はかなり多いのではないのでしょうか。私の周りの小さなお子さんをおもちのお母様方は、予防接種を受けたということをかかなり話題にしていらっしやいましたので、そういったことからの判断でございますが、そのように考えております。効果につきましては、私の口から申し上げるようなことでは

ございませんので、控えさせていただきます。

○委員長 ほかにございますでしょうか。

それでは、以上で報告を終わりたいと思います。

次回の報告になりますが、2月5日に中学生東京駅伝が行われます。天気予報は余りよくないのでありますが、毎年好成績を上げておりますので、ぜひ皆様にも注目していただき、これについて、また次回の教育委員会で報告ができればと思います。

それでは、休憩いたします。

午前 10 時 48 分休憩

午前 10 時 49 分再開

○委員長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○委員長 以上で町田市教育委員会第 11 回定例会を閉会いたします。

午前 11 時 11 分閉会